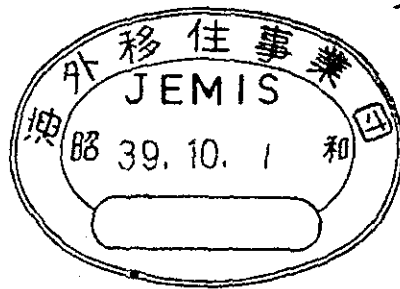


管 内 概 況

才 二 版



昭和三十三年十月九日

財団法人 日本海外協会連合会アマゾン支部

JICA LIBRARY



1024305131

703
24
BA

国際協力事業団	
受入 月日 '84. 8. 20	703
登録No. 13073	23.4
	EA

オ1 阿マゾン支那管内入植位置略図

I 阿マゾン地域に於ける邦人移住者の分布 1 頁

1. 戦前移住者
2. 戦時
 - イ. 村匠移住地
 - ロ. 呼寄
3. ベレン近郊集居地

II 阿マゾン地域戦時移住の経緯 1

1. 辻村5,000家族のコンセンソノ
2. 移住者受入れ村の指定
3. オ一個移住者
4. 海協連阿マゾン支部の設置
5. 年次別移住者数

III 海協連阿マゾン支部内事情 4

1. 補助金の交付経緯
2. ジヤミック・ベレン移住-幹部部
3. 業務内容
4. 管轄地区
5. 収買及びイの配量

IV 管内概況 6

(I) 既設植民地概況

1. タイアーノ植民地
2. キナリー
3. トーゼ・デ・セテゾロ
4. バラ・ウイスタ
5. エフビニウ・サーレス
6. モンテ・アレグレ
7. グワマ
8. マタピー
9. カンボ・バルデ
10. アカラー
11. エザリオ
12. ムルアイ
13. オニトノアス

1. 總括統計表 14

- オ1表 入植者一覧表
- オ2表 築居物件及び施設一覧表
- オ3表 農業収支一覧表
- オ4表 在農概況
- オ4表(別) 農業収支分析図表
- オ5表 永年性作物植付数
- オ6表 家畜頭数

(II) コンテナレベル指導農場概況 19頁

1. 設置目的
2. 設立年月日
3. 所在地
4. 所有面積
5. 主要業務
6. 施設物

V. 新規事業計画 20頁

1. 植民地計画

1. BR-14 植民地計画
2. オマハアスー植民地計画
3. アカラー植民地計画

2. 試験農場新設計画

3. 移住者宿泊所建設計画

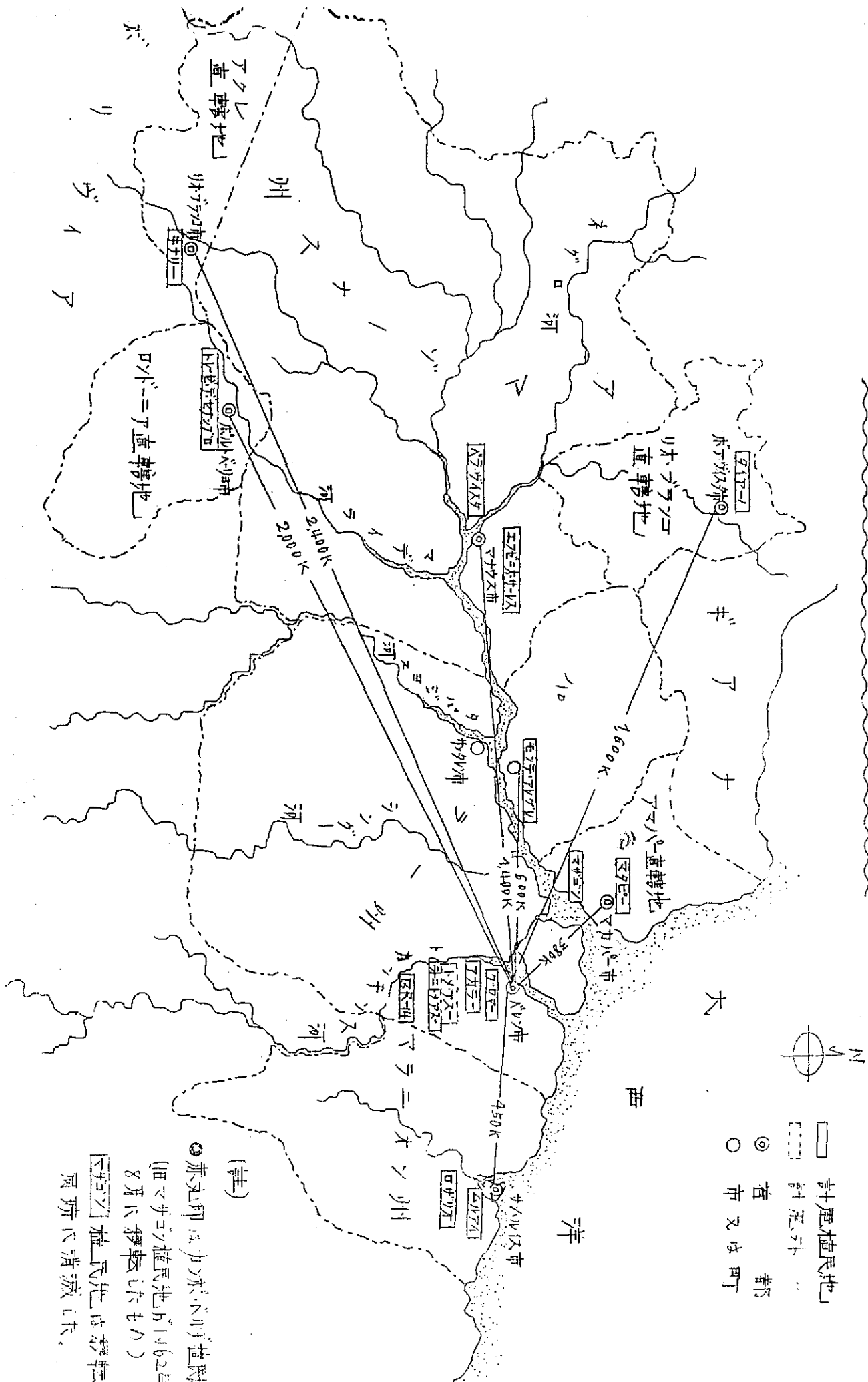
VI. マラリヤ問題 21頁

附

- 一表 着任年次別入植者数一覧表
- 二表 在アマゾン日本人団体枝所一覧
- 三表 佐苗肉保枝所一覧

以上

アマゾン地域邦人入植地分布図



- 計画植民地
- - - 既存地
- ◎ 市
- 市又は町

(註)

◎赤丸印はカノボロ直轄地
 (旧アマゾン直轄地の1962年
 8月の移転地を指す)
 □アマゾン直轄地は移転地
 廃止の消滅地

1. アマゾン地域に於ける邦人移住者の分布 (オ 1 図 説 明)

1. 戦前移住者

大きく別けて二つの形態がある。一つは大江沿岸に散在する。今一つはトメアスを中心として集団形態を呈している。

2. 戦后移住者

イ. 計画移住者

戦后、移住が奨励される、現在農文部の指導下にありしが此の形態である。ニル等の植民地は凡て伯向側の斜線に示すものであり、天部としての機業及び指導も側面的な指導協力の域を出ないのが実情である。

ロ. 呼寄移住者

戦前移住者の成功者による呼寄が数的には過半を占めているが、漸次戦后移住者による呼寄も増えつつあるのが最近の傾向である。

3. ベリン近郊集団地

本地区は上記各移住者の転住により自然発生的に出来つつある集団地としてベリン市場を形成せしむる蔬菜栽培者が多い。

II. アマゾン地域戦后移住の経緯

1. 昭和26年、辻小太郎氏は欧ゼツソリホヴァルが大統領より5,000家族の邦人移住者入植のコンセッションを獲得した。(註) 当時は伯向の島交回復せず、日本政府特許は存在しなかった。

2. 昭和27年、上記のコンセッションを基盤として日本政府はアマゾン経済開発株式会社(社長辻小太郎)を移住者取扱特許に指定した。

3. オーロ公募移住者14家族(54名)がアマゾン中流のブエータ地帯に入植した。爾後今日迄の入植者は990家族(6,008名)である。(次項「年次別移住者数」参照)

4. 昭和27年6月、当支部(戦国法人日本海外協会連合会アマゾン支部)が設立される。アマゾン経済開発株式会社より移住者取扱業務を引き継ぎ発生に至る。(註) 戦国法人、日本海外協会連合会の設立は昭和27年1月である。

5. 年次別 移住者数

(注) 異数は、この年分表航路表に於て

到着年月日		計 戻 移 住 者		呼 寄 移 住 者		合 計	
年	月	家族数	異 数	家族数	異 数	家族数	異 数
昭和 28	2	17	54			17	54
	8			29	181	29	181
	9	76	476			76	476
昭和 29	2			11	65	11	65
	6	38	217	30	171	68	388
	7	77	476	10	60	87	536
	8	51	306	2	9	53	315
	11	50	300	10	51	60	351
	12	14	87	36	215	50	302
昭和 30	1	61	390	22	148	83	538
	4	55	358		2 (単)	55	360
	5			25	163	25	163
	10			21	121	21	121
	12			4	36	4	36
	昭和 31	1				1 (単)	
4				2	13	2	13
5				4	31	4	31
7					1 (単)		1
12		16	5	5	25	21	130
昭和 32		1	26	80	3	20	29
	5			1	13	1	13
	6	47	284	1	15	48	299
	10	28	183	4	12	32	195
昭和 33	2			8	59	8	59
	6			4	28	4	28
	8				1 (単)		1
	11	17	118	4	33	21	151
昭和 34	4	6	44		1 (単)	6	45
	6	7	47	3	26	10	73
	9	6	30	7	41	13	71
昭和 35	3			8	57	8	57
	7	19	111			19	111
	8						

	9			10	70	10	70
形和 36	1	10	52		1(单)	10	53
	2			3	28	3	28
	3			5	19	3	19
	7	9	52	2	14	11	66
	8	16	43	26	145	42	238
形和 37	5			6	32	6	32
	10	14	76			14	76
計		675家族	4,126名	329家族	2,065名	1,004家族	6,191名

五. アマゾン支部内事情

1. 昭和31年度より昭和34年までの間は在バレン總領事館より「移住者受入機関補助金」の交付を受け、事業の実施に当った。

昭和35年度よりは本部を通じて補助金の交付を受けると改められた。

2. 昭和34年6月1日、佐野法との関連等により、伯国内での事業活動を便ならしめるため、日本海外移住振興会法現地機関との統合が実施され、JAHICバレン移住あつせん部となった。(対日関係に於いては従来通りアマゾン支部の名称のまま。)

3. 当支部の主な業務内容は次の通りである。

1. 移住者の受入

ロ 入植候補地の調査

ハ 植民地の造成

ニ 農業指導

ホ 移住地公共施設の建設 整理並びに経営

ハ 農作物の試験、試作及び種苗の配布。(モンテアレグレ試験農場)

ト 肥料、種畜、肥料等の購入あつせん

チ 銀行融資のあつせん

リ 障害移住のあつせん

ス 農産物の集荷販売のあつせん

ル 預託農業資金の管理

ヲ 疫抗薬の回収

フ 移住者運輸機関、共同農具等の機材

カ 衛生指導及び医師派遣、産品配下

コ 文化教育の普及及び向上指導

ク 視察者への便宜供与

ケ 事故による帰国者及び送還者に対する援助

ク その他移住者の受入定着に必要な事項

4. 管轄地区は下記の通りである。

イ. パラー州

ロ. アマゾナス州

ハ. マラニョ州

ニ. アマパー直轄地

ホ. アーク州

ヘ. ロンドニア直轄地

ト. リオブラソコ直轄地

5. 当支部の転属配置は次の通りである。

海外移住事業団アミゾン支部人事配置表

昭和廿八年八月廿六日

支部長 一本杉 豊 ----- 支部長付 越和 栄

次 長 上村延太郎 ----- 補助上村昌司(兼) 浜川金仁(兼)

パレソ
事務所

- 一 渉外係 ○ 越和 栄(兼) 小谷祐次(兼) 辻村一馬(兼)
小野重善(兼)
- 一 庶務係 ○ 小谷祐次 阿部義計
- 一 経理係 ○ 浜川金仁(兼) 竹中仙三 王井 豊章 武蔵
浪子 小野重善(兼)
- 一 振興係 ○ 上村昌司 後藤隆郎 谷口 英夫(兼)
辻村一馬
- 一 調査係 ○ モンテアルソレ試験農場連絡係
辻村一馬 竹中仙三(兼) 石川理忠男(兼)
- 一 保健文化係 ○ 石川理忠男 竹中仙三(兼) 辻村一馬(兼)
- 一 造成係 ○ 難波伸一郎 谷口 英夫(兼) (オトマツ連絡係)
- 一 融資係 ○ 浜川金仁 王井 豊章(兼) 小野重善

パレソ診療所 ----- 今田 栄 高田シユウ

モンテアルソレ試験農場 ----- 前田 安隆

- マナオス事務所 ○ 東久一 高村正寿
- パレソイマツ植民地 ○ 中井 真
- オトマツ植民地 ○ 野賀 勇
- オトマツ植民地 ○ 上 務 六 園 山中正 = 銅 鐵 工 場
本 田 勝 久 鶴 崎 達 三 浅 野 健 吉
- オトマツ事務所 ○ 谷 正 一

(註) ○ 印主任

夫部長 野 居 一 正

博士 越 知 栄

診療所 伊 託 西 今 田 求 看 護 婦 佐 々 木 友 枝

所在事務所

マナクス事務所 高橋 久一。大和田 誠一郎
 アリアタ入産地 高橋 正寿
 キナリー産地 村山 雅元
 タイアノノ 那 賀 勇
 マラニオン 谷 正 一
 オニトメアス 上 森 六 園
 アマバ 山 本 栄 二

業務班

上 村 益 太郎

試験場

野 村 昭 夫。阿 部 義 計

野 住 地 調 査 係 辻 村 一 男

農務係 上 村 昌 司、難 永 伸 一 郎

菊 池 益 前 田 安 隆

総務班

兼 越 知 栄

庶務係 小 谷 裕 次 塩 原 豊

会計係 中 仙 三。武 藤 浪 子

(定員 20 名 0 印 出 本 局 外)

IV. 管轄内概況

(I). 既設植民地概況

1. タイアーノ植民地

- (1) 所在地
リオブランコ直轄地官郡 ボア・ダ・イスタ市より東29km
- (2) 経営主体
リオブランコ直轄地政府
- (3) 入植年月日
1955年9月 (バルテラより転住)
- (4) 総面積
2,000 ha以上
- (5) 邦人入植者数
15家族 93名
- (6) 主要農産物
永年作物: 胡椒、咖啡、果樹類
短期作物: 米、マンジョカ、ミーリヨ
- (7) 実用物件及び施設物
イ. 脱粒機 (昭和31年) 1台
ロ. 精米機 (" 32年) " "
ハ. ジープ (" 36年) " "
ニ. トラクター (" 36年) " "
- (8) 組合
組合名: タイアーノ農業協同組合 (任意組合)
組合員数: 13名

2. キナリー植民地

- (1) 所在地
アクリ州官郡 リオ・ブランコ市より東南東28km
- (2) 経営主体
アクリ州政府
- (3) 入植年月日
1950年6月
- (4) 総面積
1,500 ha
- (5) 邦人入植者数
11家族 75名
- (6) 主要農産物

・永年性作物…ゴム, カフェー, カステア, 胡椒, 果樹類
 ・短期作物…米, ミーリョ, 豆, マンデヨカ

(7) 貸与物件及び施設物

- イ. 共同倉庫及び販売所 (昭和34年) 一棟
- ロ. 駐在員事務所 (" 31年) "
- ハ. トラック (" 33年) 一台
- ニ. 精米機 (" 36年) "

(8) 組合

組合名 キナリー農業協同組合 (任意)
 組合員数 11名

3. トロービデセアンブロ植民地

(1) 所在地

ロンドニア直轄地「首都ポルトヴェーリヨ市より南西9料」地奥より

(2) 経営主体

ロンドニア直轄地「政府」

(3) 入植年月日

1954年7月

(4) 総面積

1,570ヘクタール

(5) 邦人入植者数

22家族 131名

(6) 主要農産物

永年性作物…ゴム, カフェー, 胡椒, 果樹, パインアップル
 短期作物…米, ミーリョ, 豆, 野菜

(7) 貸与物件及び施設物

- イ. 精米機 (昭和31年) 一台
- ロ. トラクター (" 32) "
- ハ. 共同販売所兼倉庫 (" 32) 一棟
- ニ. トラック (" 35) 一台
- ホ. トラクター荷車 (" 33) "

(8) 組合

組合名 ロンドニア農業協同組合 (任意)
 組合員数 20名

4. バラヴィスタ植民地

(1) 所在地

アマゾナス州首都、マナウス市より南西6料離此市ネグロ河の対岸より始り、マナウス及びマナカブレーの両郡に隣る。

(2) 経営主体

「移民院」(INIE)

(3) 植年月日
1953年及び1954年

(4) 総面積
15000ヘクタール

(5) 邦人入植者数
44家族 255名

(6) 主要農産物
永年性作物… ゴム, ガラナー, カフェー, 胡椒, 果樹 (パイナップル)
短期作物… 米, マンデヨカ, 野菜, 落花生

(7) 貸与物件及び施設物
イ. トラック (昭和30年) 一輛
ロ. 精米機 (" 31) " "
ハ. 木造船 (" 32) " "
ニ. トラクター (" 33) " "
ホ. ジープ (" 34) " (邦在員用, マナウス市に在り)

(8) 組合
組合名 アグア・フリア農業協同組合 (合法)
組合員数 39名

5. エフビエホ・サールス植民地

(1) 所在地
アマゾナス州首都マナウス市より東北45軒より マナウス〜イタ
コチヤラ街道沿い

(2) 経営主体
アマゾナス州政府

(3) 入植年月日
1958年(オ一次) ~ 1960年8月(オ四次)

(4) 総面積
広大な3州有地の中に在り。植民地面積は限定なし

(5) 邦人入植者数
55家族 335名

(6) 主要農産物
永年性作物… ゴム, ガラナー, 胡椒, 果樹類
短期作物… 米, マンデヨカ, 野菜

(7) 貸与物件及び施設物
イ. 邦在員事務所 (昭和34年) 一棟
ロ. トラック (" 33) 一輛
ハ. " (" 36) " "
ニ. ジープ (" 34) " "
ホ. 収容所兼校舎 (" 35) 一棟
ハ. 共用倉庫兼販売所 (" 34) " "

ト井戸掘機 (昭和36年) 一台
テ探油機 (" 36) "

- (8) 組合
組合名 エフェオ・サービス農業協同組合 (任意)
組合員数 56 名

6. モンテ・アレグレ植民地

- (1) 所在地
パラ州モンテ・アレグレ郡モンテ・アレグレ町より北方ヨタ料 (アサザル) 及び4千料 (ドリス・ガリーヨマ地五) より始まる。
- (2) 経営主体
移植民院 (INIC)
- (3) 入植年月日
1953年 ~ 1955年
- (4) 総面積
360,000 ハクタール
- (5) 邦人入植者数
44 家族 284 名
- (6) 主要農産物
永年性作物 … 胡椒、カーオ、カフェー、采樹液
短期作物 … 米、豆、蕎麥、タバコ、ジュエタ、落花生、マニョカ
- (7) 貸与物件及び施設物
イ. トラック (昭和30,33年) 二台
ロ. 脱粒機 (" 31年) 一台
ハ. 精米機 (昭和31年(2),33年(1)) 三台
ニ. トラクター (" 33年) 一台
ホ. テンゾー (" 35年) "

- (8) 組合
組合名 モンテ・アレグレ農業協同組合 (任意)
組合員数 42 名

7. グラマール植民地

- (1) 所在地
パラ州首都・ベレンよりグラマール河内沿って上流4千料、陸路(5千料)の地より始まる。
- (2) 経営主体
移植民院 (INIC)
- (3) 入植年月日
1955年4月 ~ 1957年
- (4) 総面積
33,510 ハクタール

(15) 邦人入植者数
43家族 300名

(16) 主要農産物
永年性作物... ゴム, 胡椒, カフェー, 果樹類
短期作物

(17) 貸与物件及び施設物

イ 木造 船	(昭和32年)	二隻
ロ	()	一隻
ハ トラクター	()	二台
ニ 駐在員事務所	()	一棟
ホ トラック	()	一台

(18) 組合

組合名... グアム・カジャース産業組合(任意)
組合員数 36名

組合名... グアム・パルナブーコ産業組合(任意)
組合員数 15名

8. マタピー植民地

(1) 所在地

アマパー直轄地官邸、マカパー市より北々東12キロ、北東に約33

(2) 経営主体

アマパー直轄地政府

(3) 入植年月日

1953年及び1955年

(4) 総面積

4,375ヘクタール

(5) 邦人入植者数

7家族、42名

(6) 主要農作物

永年性作物... ゴム, 胡椒, 果樹

短期作物... 木, マンデヨカ, 野菜

(7) 貸与物件及び施設物

イ トラック (昭和30年) 一台

ロ 共同倉庫 () 一棟

ハ シガル麻瓦利於 () 一台

ニ ジー・ア () 台

(8) 組合

組合名... マタピー農業協同組合(任意)

組合員数 9名

9. カソホ・ヴァルデ植民地

(但マサゴン植民地より移転)

(1). 所在地

アマパー直轄地 首都、マカパー市より130料の地美より始まる。
マタビー植民地の近接地である。

(2). 経営主体

アマパー直轄地政府

(3). 入植年月日

1962年9月 (註) 1957年8月マザゴソ植民地に入植

(4). 総面積

300ハクタール

(5). 邦人入植者数

6家族 23名

(6). 主要農産物

永年性作物... ゴム, 胡椒, 木樹類 (植付予定)

短期作物... 米, マンデヨカ, 野菜 (")

(7). 貸与物件及び施設物

1. 木造船 (昭和33年) 一隻

2. 舟米船 (" 35) 一隻

(8). 組合

組合名... カンボ・バルダ農業協同組合 (任意)

組合員数... 6名

(註) マカパー市近郊に20数家族の邦人移住者が居住しているが、本文部が管轄しているが、植民地は形成していない。

10. アカラー植民地

(1). 所在地

パラ州首都、ブレソ市より水路120料の地美に在るアカラー町より北方220料の地美より始まる。

(2). 経営主体

パラ州政府

(3). 入植年月日

1960年7月 (クワター植民地より移転)

(4). 総面積

広大なパラ州有地であるが、総面積には限定されてはいない。

(5). 邦人入植者数

23家族 118名

(6). 主要農産物

永年性作物... 胡椒, 茶樹,

短期作物... 米, マンデヨカ, 豆, 野菜

(7). 貸与物件及び施設物

イ. トラック	(昭和31年)	一台
ロ. 学校兼収容所	("	33) 一棟
ハ. 駐在員事務所	("	34) "
ニ. 集材枝	("	34) 一台
ホ. 共同倉庫	("	35) 一棟
ヘ. トラクター	("	35) 一台
ト. ジープ	("	35) "

(8). 組合

組合名 アカラー産業協同組合 (任意)
 組合員数 24名

11. ロザリオ植民地

(1). 所在地

マラニオン州首都サンルイス市より南方80料 ロザリオ町附近

(2). 経営主体

マラニオン州政府

(3). 入植年月日

1960年1月

(3). 総面積 600ヘクタール

(4). 邦人入植者数

19家族 116名

(5). 主要農産物

永年性作物... 胡椒, 栗, バナナ

短期作物... 米, マンデヨカ, 野菜, 落花生

(6). 貸与物件及び施設物

イ. 駐在員事務所 (昭和35年) 一棟

ロ. ジープ (" 35年) 一台

(7). 組合

組合名 瑞穂農業協同組合 (任意)

組合員数 19名

12. ムルアイ植民地

(1). 所在地

マラニオン州首都サンルイス市より南方30料の地より南に

(2). 経営主体

マラニオン州政府

(3). 入植年月日

1961年1月

(4). 総面積

110ヘクタール

(5). 邦人入植者数

11家族 60名

(6) 主要農作物

本庄民地は養鶏事業の植民地で、鶏糞を利用して副業的に野菜栽培を行ってゐる。

(7) 貸手物件及び施設

- イ 発電機及び附属品 (昭和35年) 一式
- ロ 収容所兼放舎 (" 35) 一棟
- ハ トラック (ロザリオ無印) (" 36) 一台

(8) 組合

組合名 ムルアイ農業協同組合 (任意)
 組合員数 10名

13. オニトノアスー植民地

(1) 所在地

パラー州首都、バリン市より南水路240軒のトノアスー港より南東約30軒の地天よりなる。

(2) 経営主体

シヤミンク

(3) 入植年月日

1962年9月

(4) 総面積

25,800ヘクタール

(5) 邦人入植者数

25家族 (現在) 107を将来は880家族入植予定

(6) 主要農作物

永年性作物 (予定) 胡椒
 短期作物 () 米、ミーソエ

(7) 貸手物件及び施設

- イ トラクター (昭和36年) 一台
- ロ 発電機及びカンナ (") "
- ハ 収容所兼放舎 (") 一棟
- ニ 診療所 (") 一棟
- ホ 駐在員事務所 (") "
- ヘ シープ (") 一匹

(8) 組合

未だ定足さず

上 概 括 統 計 表

表一 入植者数一覽表 1962年9月現在

表二 築与物件及以施設一覽表 1962年9月現在

項 目 地 名	親 入 植 者 数		現 住 者 数		定 着 率 %
	+	△	=	人	
タ イ ア ー ノ	22	109	15	93	68
H-I-E-G-A-T-E-R-A-G-I-E	29	186	22	131	76
キ ナ リ ー	13	91	11	75	85
バ ラ ヴ ァ イ ス タ	140	820	44	255	34
E-T-E-O-S-A-R-I-S	39	243	55	335	71
E-N-G-L-I-S-H	125	311	44	284	35
ゲ ワ ー	130	811	49*	300*	33
ア カ ラ ー	25	118	23	118	100
マ タ ペ ー	50	305	7	42	14
カソボ・ヴェルチ (旧マダゴン)	7	44	6	23	85
ロザリオ	14	111	19	116	100
ムルテイ	11	10	11	10	100
カニトラス	25	107	25	107	100
合 計	633	3,816	331	1,944	52

項 目 地 名	建 物					公 共 施 設				
	トラス	トラス	橋	池	池	収容所	生産庫	診療所	診療所	診療所
タ イ ア ー ノ		1	1	1			1		1	
H-I-E-G-A-T-E-R-A-G-I-E	1	1	2							
キ ナ リ ー	1		1							1
バ ラ ヴ ァ イ ス タ	1	1	1				1			
E-T-E-O-S-A-R-I-S	1		1		1		2		2	1
E-N-G-L-I-S-H	1	1	2	1					1	1
ゲ ワ ー	1	2					3			1
ア カ ラ ー	1	1		1			1		1	1
マ タ ペ ー	1									1
カソボ・ヴェルチ (旧マダゴン)			1				1			
ロザリオ	1								1	1
ムルテイ							1			
カニトラス		1			1		2		1	1
合 計	9	8	9	2	2	1	5	5	4	4

(註) ゲンター入植者現在数、1960年一現在

ホニ表 産農収支一覽表

1961年 単位: 円

項 目 地 名	産 数	産地 全体収支			一平均収支		
		總 収 入	總 支 出	残	収 入	支 出	残
タイターノ	* 15	149,750	589,051	60,700	162,437	147,262	15,175
H-ビデヒラコ	22	6,668,050	5,860,000	808,050	303,093	266,363	36,730
キナリー	41	3,368,450	3,144,280	224,170	306,223	285,843	20,380
ハラ・ザイヌ	30	11,376,000	9,790,575	1,585,425	3792,000	3,263,525	52,845
ニヒキナ	55	6,968,016	10,049,099	3,081,083	126,191	182,716	56,519
モリ・テレビ	44	16,122,340	13,146,779	2,975,561	377,782	298,790	78,992
ゾロラー	41	14,625,380	17,600,140	2,974,760	298,477	359,186	60,709
アカラー	14	2,172,150	6,354,170	4,181,980	155,153	453,866	298,713
カタピー	7	6,267,750	4,782,090	1,485,660	895,392	693,155	212,237
サザノ	7	2,136,700	2,117,630	19,070	305,242	302,518	2,724
ロザリナ	19	2,746,100	4,964,100	2,218,000	144,591	241,268	116,777
ムルタイ	10	2,356,600	2,808,220	451,620	235,660	280,822	45,162
合 計	283	75,948,146	81,206,093	5,257,947	279,221	298,551	19,330

(註) ※印 調査対象産数(ホニ)のみである。

表四 養蚕概況一覽表

1961年(單位:日元)

項目 所在地	第一期 收入	第二期 收入	家畜收入	其他收入 (包括補助金)	總收入	養蚕集	總產
タイターノ	469,200	21,400	93,150	16,000	649,750	589,150	16,700
ヒビチ・セツカ	3,265,050	55,300	3,347,700	—	6,668,050	5,860,000	808,050
キナリー	2,497,050	171,300	535,500	164,600	3,368,450	3,144,280	224,170
アヲ・ウヅメタ	4,832,000	2,731,320	1,214,540	2,599,000	11,376,000	9,790,575	1,585,425
エラビニホサハ	4,734,420	412,545	381,031	1,410,000	6,968,016	10,049,199	3,071,853
モソチ・アケビ	12,208,820	1,421,120	2,680,500	301,900	16,622,340	13,146,779	3,475,561
ゲノメー	12,014,580	1,651,000	959,800	—	14,625,380	17,600,140	2,974,760
アカラ一	1,211,750	21,500	359,900	579,000	2,172,150	6,354,130	4,181,980
フタド一	2,739,430	1,306,120	2,221,500	—	6,267,050	4,782,490	1,484,560
マザン	1,808,890	122,110	115,900	89,900	2,136,800	2,117,630	19,070
ロザリホ	2,308,600	—	257,500	180,000	2,746,100	4,964,100	2,218,000
ムラテ	1,438,800	—	697,800	220,000	2,356,600	2,808,220	451,620
合計	49,528,790	7,914,235	12,864,824	5,640,300	75,948,149	61,206,093	14,742,056

千叶県の農業収入分析図表 (1962年)

10,000,000

50,000,000

50,000,000

50,000,000

千円以下

農業収入 81,206,093円

農業総収入 70,307,846円

短期作収入 49,528,790円

野菜収入 24,744,360円

種別収入 9,835,410円

その他 4,822,147円

永年作収入 7,914,235円

家畜収入 12,864,821円

雑収入 5,149,310円

総経費 81,206,093円

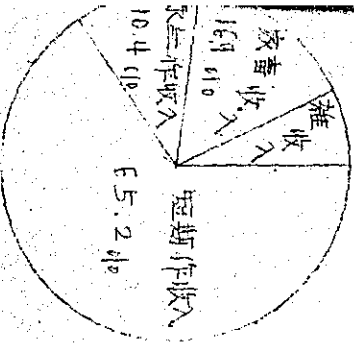
農業経費 29,660,764円

生計費 51,545,329円

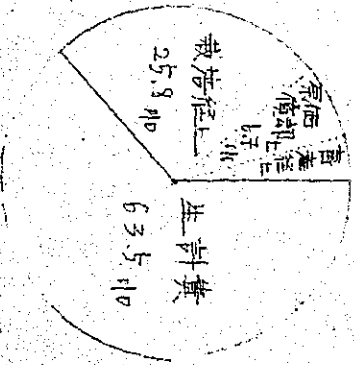
税金 5,571,947円

(注) 野菜は利益率低く、生産者団体の大量の資金を投じており、永年作では此の大部分は経費に全額投入している。このため、収入面ではマイナス現象を示している。

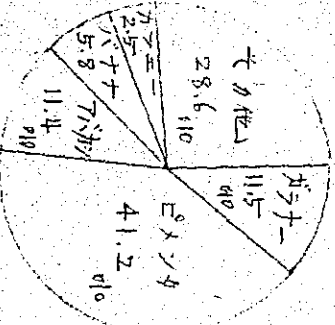
収入内訳



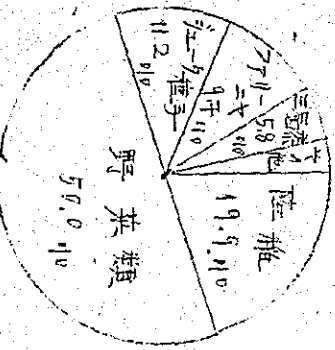
総経費内訳



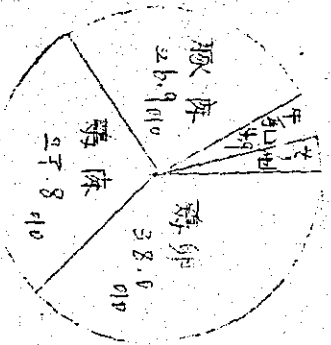
永年作収入内訳



短期作収入内訳



家畜収入内訳



才五表 永年性、多年性作物植付数

1962年(単位:本)

才六表 家畜頭数

1962年

項目	植付数		1962年(単位:本)					家畜頭数					
	果樹	木立	りんご	梨	柿	葡萄	牛	豚	鶏	馬	豚		
クイーン	258	3400	264	—	—	—	680	1110	—	3	5	1	25
ハゼチチチ	5220	4510	25	27855	1460	70100	590	3960	183	15	33	2	3330
ナナリ	—	16790	—	13612	—	13000	370	383	97	12	90	—	730
バラ・ローズ	13116	21946	1000	49830	34900	5200	190	680	55	—	29	1	937
イチビキサハ	20957	6705	135	2760	14890	36550	2150	2485	98	—	22	—	1184
モリ・ソウジ	23114	5659	13120	1000	—	18830	994	15416	1428	75	840	40	2651
ゲワナー	31482	3400	3650	28300	—	13680	5148	20430	181	34	147	4	737
アカラ	36400	—	—	—	—	1089	148	602	18	3	40	—	576
ミグミ	4170	507	3855	154606	—	22500	756	521	878	—	560	6	598
マサヨシ	80	49	490	2660	—	3200	284	—	—	5	82	—	59
フザリオ	2251	—	—	—	—	2500	627	9480	733	—	25	—	559
ニワフイ	—	—	—	—	—	5000	20	282	107	7	1	—	5400
合計	137048	12960	23029	280623	51250	194249	11913	56183	4328	154	1814	54	16786

(II) モンテ・アレグレ指導農場概況

1. 設置目的

アマゾン地域農作物一般の総合的試作、新作物の導入及び改良並びに気象観測を行い、ニル等優良品種を産地全般に分配配布する。

2. 設立年月日

昭和31(1956)年12月

3. 所在地

パラ州モンテ・アレグレ郡モンテ・アレグレ町より北方22kmの地矣

4. 総面積

232町歩(ヘクタール)

5. 主要業務

- イ. 農作物試作 カカオ、テンテ椰子、ゴム、果樹類、カフエ、被覆作物、米、ミーソ、ジエータ、バナラ等。
- ロ. 畜産 産牛、産豚、産鶏の飼育。
- ハ. 気象観測

6. 施設物

イ. 家族宿舎	(昭和31年)	5棟
ロ. 独身 "	(")	1 "
ハ. 豚舎	(")	1 "
ニ. 鶏舎	(")	1 "
ホ. 豆葉箱	(")	1ヶ
ヘ. 給水塔	(")	1ヶ
ト. トラック	(")	1台
チ. 精米機	(")	1ヶ
リ. 脱粒機	(")	1ヶ
ス. 事務所	(")	1棟
ル. トラック庫	(" 33年)	1ヶ
ヲ. ジェーター	(" 29年)	1台
ワ. トラクター	(" 33年)	1ヶ
カ. プルトーザ-124	(")	1ヶ
コ. 榨油機	(")	1ヶ
ク. 灌溉排水設備	(" 35年)	1式

以上

V 新規事業計画

1. 植民地計画

(1) BR-14 植民地計画

BR-14 国道 (バノンへブラジリア南の再送)、バノンより 329 から 343 軒向の 14 軒国道を挟み左右各 6 軒、面積 16,800 Ha の州有地に 500 家族の邦人を入植せしめんとするものである。

達成に事は本年度より五ヶ年向に、入植計画は明年度より八ヶ年向に互に此れを完遂せんとするものである。従来は右側側の負担に於いて建設したる植民地に入植せしめる型を採っていたのであるが、本植民地は日本側の責任において此れを建設せんとするものである。

入植計画は次の通りである。

初年度 (昭和 38 年度)	30 戸
二 "	50 "
三 "	50 "
四 "	50 "
五 "	50 "
六 "	70 "
七 "	100 "
八 "	100 "
計	500 戸

(2) トマアスー植民地計画

現トマアスー植民地の隣接地 25,800 Ha に五ヶ年計画を以て 380 戸の新植民地を建設せんとするものであつて、移民振興株式会社バノン支店において既に達成に着手したのであるが、昨年度のマラリヤ撲滅の遂行、入植を一年延期し、マラリヤ撲滅の上、入植を前倒す等となり、右側側のマラリヤ撲滅に呼応し、現地に「マラリヤ防遏緊急対策委員会」が発足し、此れが急速なる実効を挙げんと努められた。この程、防衛機能が認められたので、本年九月に入り 25 家族、10 戸が現地より入植した。

尚、昭和 39 年及び 40 年度予算により下記築居物件及び施設物が持ち込まれてゐる。

- イ、収容所兼校舎 (昭和35年度) 一棟
- ロ、診療所 ()
- ハ、駐在所事務所 ()
- ニ、トラック () 一台
- ホ、発電機 ()
- ヘ、三療器具 () 一式
- ト、精米機 (昭和35年度) 一台
- チ、製氷機 ()
- リ、ジープ ()
- ヌ、トラクター ()

(3) アカラー植民地計画

昭和35年7月 グラマール植民地バルナンブーエ地区よりの転出組は家族を当支部に転住定着せしめたるアカラー郡アカラー植民地を郡当局の積極的な邦人移住者誘致策と相俟って将来有望なる植民地と期待される。他イグラマール退耕者も家族及びサンバラローバ一隣移住したる家族の車外、トメアスーリを転入る家族、計24家族(現在)となり、トメアスー植民地への水陸中継地と云う地の利もあつて、漸次注目をおびつてある。

当支部としては、将来15戸の植民地計画を樹て、本年度より土地調査を開始し、来年度より入植を開始したいと考えている。本植民地は前々者同様に本州の責任に於いて建設するにせらるるもので、州郡は土地の賃借払下げのみの便宜を供与する程度に止まるべきである。

2. 試験農場新設計画

モンテ・アレグレイの既設の指導農場があるが、近隣植民地建設の勃発を以て、バレンヘマナウス向を中心とした計画が著しく、モンテ指導農場は地理的に其の利用価値が少なくなつて来るとあるから、此處に畜産研究の役目を担

土ヨリ三河牧場にしての方向へ性格一変更し、ベレン近郊に実験的な試験農場を新設し、マナウス近郊には種苗の増殖に主眼を置いた其の農場を設置すべく計画を進めている。

この等の農場には移住者き業の技術教育を冀すため宿泊講習設備も併せする計画である。

本計画は37年度に於いて実施すべく目下準備を進めている。

3. 移住者宿泊所建設計画

アマゾン地域移住者は本報を下船し、各移住地への行便を待つ期間ベレン市に一勝帯在を余儀なくされるもので、少くとも一週間長がれば二週間の期間を見込む必要がある。従来この種の待期間はI.N.T.C.の経営にカッユタパタン宿泊所を利用して来たものであるが、本施設は30年前に設置されたもので家屋は腐朽し、炊飯設備は壊壊し、邦人入植者の利用には到底耐えなくなつて来たので、今後の新規植民地計画に伴い是非共、本宿泊所の建設を急ぐ必要に迫られて来ているものである。

現在、汎アマゾニア日伯協会々館の隣接地を一区、予定地として、38年度予算に此れを要求中である。

VI. マラリヤ問題

昨年初頭より全アマゾン地域に亘り猖獗を極めつつあった流行性感冒とマラリヤとの併発症は病感の終息に拘りず、マラリヤのみは依然として下火となりず、益々横達を続けてきたので当支部としては緊急マラリヤ対策を樹て、DDTの撒布、予防薬の無償配布を実施してきた。結果は漸次良好を示しつつある。伯国政府も本問題に重視し、国家施策としてマラリヤ撲滅を本課に命じて開始したので、当支部としては此れに協力体制を敷き植民地内の衛生に万全を期している。

附表 1. 倉田年次別入植者一覽表

年次 入植地	年次別入植者数										合計									
	1953(28)	1954(29)	1955(30)	1956(31)	1957(32)	1958(33)	1959(34)	1960(35)	1961(36)	入植者計										
ケイブーノ			11						4	1	5	20	11	11	11	49	86			
キナリ			96						13		41				196	23	136			
バロ、ザクタ	24	139	102	603								126	5	744	26	151	21			
エラヒオサハ																				
モラ、アソビ	23	160	43	264	16	105	281							125	1	811	42	280	34	
ダクマ														130	3	812	45	280	35	
アカラ														6	312	62	312	100		
タビ	24	177	21	123										14	82	14	82	18		
サエ														50	5	375	9	49	100	
サリ														19	11	11	19	11	15	
ルア														10	52	52	10	52	100	
小計	76	476	195	1166	70	443								10	52	52	10	52	46	
ト、アス	24	181	77	42	71	24	98							31	32	171	262	140	1,606	
ノ、ア			22	119	1	10	12							31	32	171	56	54	354	
ル、ア					100		643										100		14	
ア、ア	17	54															17	7	61	
ア、ア			4		77		165										22		142	
ア、ア																				
ア、ア			8		50												8	2	52	
小計	46	335	113	158	188	35	1,019							44	44	191	44	202	987	
合計	122	711	308	2	1,821	258	35	1,612	41	11	214	113	22	707	33	27	59	30	214	194

入植者数
1961年
1962年

現状上の数

1961年9月30日現在入植者数は分家を含め、現在数である。

数計は年身も含めた。

※1. ヘルテラ	タダリ	移殖	入植	14戸	5千名		
※2. フォードラ	デ	タ	シ	16 "	105 "		
※3. バルテ	ラ	タ	シ	43 "	281 "		
※4. バルテ	ラ	タ	シ	15 "	88 "		
※5. ゲワ	ラ	タ	シ	自由転入	入植	15 ⁽²⁾ "	31 "

(2) 印) ... の6戸は現在、分家当支那は指算に当たっているが、アカラー植民地の農業協同組合に加入するこゝを割除してある。

※6. ゲワラタシリ計画転入植 14戸 82名

※7. 現在、当支那が直接指算に当たっている計画植民地に入植者数の並数である。実数は※5、※6を除く、581戸、3616名

※8. (2)を除く、1961年9月30日現在、当支那が直接指算に当たっている計画植民地に入植者数を示す。

※9. アマゾン地域(時給を含む)に入植者の並数を示す。
 実数は (2) ~ (8) を除く、956戸、5962名である。
 但し、(1) 戸数は入植と同様に分家したるものは一戸として計上して、かつ、必ずしも並出数と一致しない。

オニ表 在アマゾン日本人団体一覧

1. 日本国バレンソ総領事館 (Consulado Geral do Japão)
Caixa Postal 912. Edifício Importadora 2º and. Av. Presidente Vargas, Belém, Estado do Pará, Brasil
 2. 日本国バレンソ総領事官邸
Av. Gentil Dittencourt no 9. Belém, Estado do Pará, Brasil
 3. 日本海外移住振興会社バレンソ支店 (JAMIC)
C. Postal 802. Rua Siqueira Bentes no. 107, Belém, Estado do Pará, Brasil
 4. アマゾンニテ日伯協会 (Associação Pan Amazonia Nipo-Brasileira)
Rua 9 de Janeiro no. 1268. Belém, Estado do Pará, Brasil
 5. トウナス-産業組合バレンソ支店 (Cooperativa Agrícola Riista de Monte-Açu) C. Postal 39. Rua Siqueira Bentes no. 20. Belém, Estado do Pará, Brasil
 6. 日本海外協会連合会アマゾン支部
C. Postal 421. Rua Gaspar Viana no. 157, Belém, Estado do Pará, Brasil
1. マナウス 駐在所
Rua 10 de Julho no. 618. Bonavés, Estado do Amazonas
 2. モンテアレグレ 指導農場
Monte Alegre, Estado do Pará
 3. マラエオン 駐在所
C. Postal 190. Rua Admiral Nina no. 538. São Luiz, Estado do Maranhão
 4. アマバ 駐在所
Rua General Gervásio s/n. Bacajá, T. F. de Amargá

示. タイアーノ 駐在所.

C. Postal 199. Colonia Agricola Coronel Boka,
Boa Vista, F. de Rio Branco

A. ｷ ﾅ ﾝ ﾝ 駐 在 所.

C. Postal 14. Colonia Agricola Guimar Santos,
Rio Branco, Estado do Acre

才三表. 伯国内係村育

1. 連邦移植民院 (INIC)

Edificio I. A. P. I 8^{and}. Av. Presidente Vargas No. 869
Belém, Estado do Pará, Brasil

2. 尤伯農事研究所 (IAN)

Storuro, Belém, Estado do Pará

3. アマツジ産畜局 (SPVEA)

Av. São Jerônimo No. 349 Belém, Estado do Pará

4. 特別公共衛生公団 (CFESP)

Av. Almirante Barroso No. 230 Belém, Estado do Pará

5. マラリヤ撲滅司 (CEM) (Companhia Controle Radiação Belém)

Av. Benil Wilkencourt No. 867 Belém, Estado do Pará

6. 州生産司 (Secretaria de Estado do Produção)

Av. Almirante Barroso No. 319 Belém, Estado do Pará

7. 州農務司 (Fomento Agrícola)

Av. Independência No. Belém, Estado do Pará

8. 連邦畜産司 (Fomento Animal)

Av. Almirante Barroso No. Belém, Estado do Pará

9. 州指令司 (SAC) (Serviço Assistência de Cooperativa)

Rua C de Almeida No. Belém, Estado do Pará

